

国際交流員マシアスのコラム

ヴィーガニズムとは



皆さんは「ヴィーガニズム」という言葉を耳にしたことがありませんか？日本人の友達に聞くと知らない人がほとんどで、日本ではあまりなじみのない言葉のようです。

ヴィーガニズムとは、動物由来の製品をまったく使用しない生活スタイルのことで、そのような生活をする人は「ヴィーガン」と呼ばれています。肉を食べない「ベジタリアニズム」は皆さんも知っていると思いますが、ヴィーガニズムは肉だけでなく、魚・卵・乳製品をまったく食べません。また、ヴィーガンの中には、食品に加えて皮製品などのあらゆる動物由来の製品を使用しない人もいます。

高まる注目

なぜ今回ヴィーガニズムについて書くかというと、近年ドイツでヴィーガニズムの気運が高まってきているからです。ある調査によると、平成26年のヴィーガン人口はドイツの総人口の約1%を占め、ヴィーガン商品は平成24年から26年までの間に売り上げが約40%上昇したということです。

ヴィーガンへの注目が高まるにつれて、それに対するサービスも充実してきています。例えば、ヴィーガン向けの料理を出すレストランが最近増えています。また、動物が使用されていない食品や化粧品が一目でわかるように、ヴィーガンのマークが付けられている製品も出てきました。

ヴィーガンになる理由

人々がヴィーガンになる理由はいくつかあります。一つは、健康です。ヴィーガンになることによって、野菜をたくさん食べ、自分が食べている物をしっかり管理するので、体に良いと思います。

しかし、ヴィーガンの生活をすることによって、栄養が偏ってしまう危険があるので、正しい栄養の知識が必要とも言われています。もう一つの理由は環境です。肉や牛乳の生産には様々な資源が必要で、二酸化炭素の排出量が多くなる原因の一つだと言われています。よって、環境を守るためにヴィーガンになる人がいます。そして動物保護も一つの理由と

して挙げられます。ヴィーガンの中には、レザー、ウール、毛皮などの動物の商品化に反対したり、動物実験を行う会社を拒否したりする人がいます。

まだほとんど注目されていませんが、将来、日本でもヴィーガニズムに関心を持つ人が増えてくるかもしれません。興味がある方はぜひ調べてみてください！



ドイツミュンヘン大学生との交流会 〜ふくべ細工作り体験〜

毎年8月にミュンヘン大学生が日本語学習と日本文化体験のために来日し、下野市に2週間ホームステイします。

大学生は下野市国際交流協会が企画した茶道体験や浴衣着付け体験、近隣教育機関の学生との交流事業に参加します。

その一環で、ミュンヘン大学生と市民の皆さまが、伝統工芸ふくべ細工を一緒に作る交流会を開催します。

市の特産品であるかんぴょうの原料と同じ夕顔の実を使ったふくべ細工を作りながら、楽しい時間を過ごしてみませんか？

- 日時 日時 8月19日(金) 午後2時〜4時 (午後1時30分受付開始)
- 場所 市民農園 クラブハウス
- 参加費 500円(1人1作品)
- 定員 10名
- 持ち物 絵筆(大小1本ずつ)
- 申込期間 8月8日(月)〜12日(金) ※祝日を除く
- 申し込み・問い合わせ先 下野市国際交流協会事務局 (市民協働推進課内) ☎(32)88887

■人口と世帯 (7月1日現在)
人口/60,05人(+47)、男性/29,805人(+14)、女性/30,240人(+33)、世帯数/23,135世帯(+42)

TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎0285(32)8886 情報広報グループまでご連絡ください。

PC・スマホ
市ホームページ

